



平成26年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月3日

上場会社名 イーピーエス株式会社

上場取引所 東

コード番号 4282 URL <http://www.eps.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 敵 浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 折橋 秀三

TEL 03-5684-7797

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第1四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第1四半期	9,027	5.5	463	△48.2	435	△49.0	103	△67.3
25年9月期第1四半期	8,554	4.3	893	△17.2	855	△18.7	314	△43.1

(注) 包括利益 26年9月期第1四半期 580百万円 (△26.8%) 25年9月期第1四半期 791百万円 (18.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第1四半期	290.10	—
25年9月期第1四半期	879.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第1四半期	30,445	19,735	56.8
25年9月期	30,323	20,060	57.7

(参考) 自己資本 26年9月期第1四半期 17,290百万円 25年9月期 17,485百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	1,600.00	—	1,000.00	—
26年9月期	—	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	800.00	—	10.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は平成25年4月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割しています。また、平成25年11月18日開催の取締役会決議に基づき、平成26年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割することとしています。これらにより、平成25年9月期の期末1株当たり配当金及び平成26年9月期の予想期末1株当たり配当金は、それぞれ当該株式分割を考慮した金額を記載しています。なお、これらの株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たりの配当金は、以下のとおりとなります。
平成25年9月期 年間 18円(第2四半期末8円、期末10円)
平成26年9月期(予想)年間 18円(第2四半期末8円、期末10円)

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,880	9.0	1,302	△25.2	1,338	△18.3	611	△9.1	17.08
通期	40,961	9.0	4,110	17.5	4,150	17.2	2,006	17.3	56.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成26年9月期の予想1株当たり当期純利益の金額につきましては、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割することとしていますので、当該株式分割が当連結会計年度の期首に行われたと仮定して算出しています。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社メディカルライン
(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年9月期1Q	361,600 株	25年9月期	361,600 株
----------	-----------	--------	-----------

- ② 期末自己株式数

26年9月期1Q	7,444 株	25年9月期	3,948 株
----------	---------	--------	---------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期1Q	355,278 株	25年9月期1Q	357,652 株
----------	-----------	----------	-----------

(注)期末自己株式数 平成26年9月期1Qには、持株会信託が所有している当社株式数 3,496株が含まれています。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
4. 補足情報	12
(1) 生産実績	12
(2) 受注実績	12
(3) 販売実績	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期の当社グループ全体の連結売上高は、益新事業の大幅な増収等により、前年同期と比較して472百万円増の9,027百万円(同5.5%増)となり、概ね期初計画通りとなりました。一方、連結営業利益は、国内CRO事業のデータマネジメント業務における低採算プロジェクトの影響等により、前年同期と比較して430百万円減の463百万円(同48.2%減)となりましたが、期初計画に対しては超過達成しました。

事業セグメント別内訳は次の通りです。

【国内事業】

当社グループでは、国内事業は、国内CRO事業、国内SMO事業、国内CSO事業の3つのセグメントで展開しています。

国内CRO事業は、当社、派遣型CRO業務の株式会社イーピーメイトおよび医薬・医療系IT関連業務のイートライアル株式会社の3社で事業を展開しています。

国内CRO事業における連結売上高は、前年同期と比較して129百万円減の4,906百万円(同2.6%減)となり、連結営業利益は、487百万円減の484百万円(同50.2%減)となりましたが、どちらも期初計画に対しては上回りました。

業務別でみると、モニタリング業務は、前期からの堅調な受注を背景に順調に推移し、売上高、営業利益ともに期初計画を超過達成し、前年同期と比較して増収増益となりました。

データマネジメント業務は、回復の兆しが見られるものの、前期から引き続き受託している低採算プロジェクトの影響が残っていたこと等により、売上高、営業利益ともに期初計画を下回り、前年同期と比較して減収減益となりました。

臨床研究、医師主導治験および医療機器の支援業務は、順調に拡大しており、売上高、営業利益ともに期初計画を超過達成し、前年同期と比較して増収増益となりました。

派遣型CRO業務は、順調に拡大しており、売上高、営業利益ともに期初計画を超過達成し、前年同期と比較して増収増益となりました。

医薬・医療系IT関連業務は、売上高、営業利益ともに期初計画を下回りましたが、新規受注獲得に繋がる営業活動の強化等により、前年同期と比較して増収増益となりました。

国内SMO事業は、株式会社イーピーミントで事業を展開しています。

国内SMO事業における連結売上高は、前年同期と比較して10百万円増の1,501百万円(同0.7%増)となり、連結営業利益は、前年同期と比較して128百万円増の148百万円(同639.3%増)と大幅な増益となりました。期初計画に対しても、売上高、営業利益ともに超過達成しました。大幅な増益の主な要因は、優良な医療機関との提携拡大及び治験体制の整備、プロジェクト管理体制の強化、提案型営業の全面展開等の営業体制の強化を図ることによる業績の拡大と、原価低減活動に努めてきたこと等です。

国内CSO事業は、株式会社ファーマネットワークと株式会社メディカルラインを2013年10月1日付けで統合し、株式会社E Pファーマラインとして事業を展開しています。

国内CSO事業における連結売上高は、前年同期と比較して57百万円増の1,459百万円(同4.1%増)となり、連結営業利益は、前年同期と比較して4百万円減の59百万円(同6.8%減)となりました。期初計画に

対しては、売上高、営業利益ともに上回りました。主な要因は、CSO事業におけるBPO、医療機器・ヘルスケア等の事業領域が順調に売上を伸ばしたことと、部署間異動による人員の効率的な配置や経費の節減等により利益体質の改善を行ってきたこと等です。

【海外事業】

当社グループでは、Global Research 事業、益新事業の2つのセグメントで海外事業を展開しています。

Global Research 事業は、2013年10月1日付けでE P S インターナショナル株式会社を設立し、東南アジアを中心に15ヶ国28地域において事業を展開しています。

Global Research 事業における連結売上高は、前年同期と比較して70百万円増の384百万円（同 22.3%増）となり、連結営業損失は、前年同期と比較して87百万円増の122百万円となり、増収減益となりました。新規プロジェクトの獲得、および、前期中のM&A効果による東南アジアにおける拠点の拡充と組織力強化等により増収となりましたが、円安の進行による円ベースでの海外拠点経費の増加等で減益となりました。そのため、期初計画に対しては、売上高、営業利益ともに未達となりました。

益新事業は、中国において事業を展開しています。「日中間のヘルスケア分野における専門商社的機能」を事業コンセプトとして推進し、医療機器販売、創薬事業等を収益の柱としています。2013年10月1日付けでE P S 益新株式会社を設立し、日中間の事業体制の強化を図っています。

益新事業における連結売上高は、医療機器関連商品の販売が好調に推移したこと等により、前年同期と比較して739百万円増の782百万円（同 1,706.0%増）で大幅な増収となり、期初計画に対しても上回りました。連結営業損失は、118百万円で、ほぼ前期並みとなりました。

また、グループ関連業務として、BPOとシェアードサービス等の事業化を進めており、概ね期初計画通りとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

当四半期末における総資産は、30,445百万円と前連結会計年度末から122百万円増加しました。

流動資産では、主に受取手形及び売掛金が940百万円、その他の流動資産が881百万円それぞれ減少した一方で、有価証券が811百万円増加したことなどにより832百万円減少して21,034百万円となりました。固定資産では、主として有形固定資産が131百万円、投資有価証券が671百万円それぞれ増加したことなどにより954百万円増加して9,411百万円となりました。

負債の部においては、主に支払手形及び買掛金が204百万円、短期及び長期借入金が689百万円、その他の流動負債が894百万円それぞれ増加した一方で、未払法人税等が743百万円、賞与引当金が746百万円それぞれ減少したことなどにより、当四半期末における負債合計は10,710百万円と447百万円増加しました。

純資産の部では、主に利益剰余金が254百万円、少数株主持分が130百万円それぞれ減少し、従業員持株会信託型ESOPの導入による自己株式の取得により自己株式が385百万円増加した一方で、為替換算調整勘定が502百万円増加したことなどにより、当四半期末における純資産の部は325百万円減少して19,735百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況においては、営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前四半期純利益が452百万円となり、売上債権の減少が991百万円あった一方で、賞与引当金の減少が749百万円、法人税等の支払による支出が783百万円それぞれあったことなどにより1,339百万円の収入（前年同四半期連結累計期間比2,299百万円増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにおいては、主に投資有価証券の取得による支出が744百万円、有形固定資産の取得による支出を173百万円、子会社株式の追加取得で145百万円支出したことなどの結果、1,040百万円の支出（前年同四半期連結累計期間比134百万円増加）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにおいては、主に長期及び短期借入金の実行で900百万円の収入があった一方で、自己株式の取得で399百万円支出し、株主及び少数株主に対して配当金を387百万円支払ったことなどにより、89百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は983百万円の収入）となりました。

以上の結果、当四半期末における現金及び現金同等物は11,084百万円（前年同四半期連結累計期間比1,141百万円増加）となりました。

なお、連結キャッシュ・フロー関連の主要な数値は、以下のとおりです。

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日）
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	△959,815	1,339,223
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△906,433	△1,040,458
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	983,180	△89,021
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	162,923	245,522
V. 現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△720,145	455,266
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	10,663,816	10,629,445
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	9,943,671	11,084,711
減価償却費	79,640	109,590
のれんの償却額	41,659	63,681

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2013年11月7日に平成25年9月期決算短信にて公表しました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社の特定子会社である株式会社メディカルラインは、2013年10月1日付で、当社の特定子会社である株式会社ファーマネットワークを存続会社とする吸収合併により消滅したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しています。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(「従業員持株会信託型ESOP」の会計処理について)

当社では、当社グループ従業員に対する中長期的な企業価値向上へのインセンティブの付与を目的として「従業員持株会信託型ESOP」を導入しています。

本制度では、当社が「イーピーエス従業員持株会」(以下、「持株会」といいます。)に加入する全ての当社グループ従業員のうち、一定の要件を充足する者を受益者とする信託(以下、「持株会信託」といいます。)を設定し、持株会信託は今後5年間にわたり持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を、銀行から取得資金の借入を行った上で、株式市場から予め取得します。その後、持株会信託は持株会が定期的に行う当社株式の取得に際して、その都度当社株式を持株会に売却します。持株会に対する当社株式の売却を通じて売却益相当額が累積した場合には、これを残余財産として受益者要件を充足する従業員に対して分配します。

なお当社は、持株会信託が当社株式を取得するための借入に対して補償を行うため、当社株価の下落により、持株会信託が借入債務を完済できなかった場合には、当社が借入先銀行に対して残存債務を弁済するため、従業員への追加負担はありません。

当該株式の取得、処分に関する会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会 実務対応報告第30号(平成25年12月25日公表))を早期適用し、当該指針に従って会計処理を行っています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,474,905	10,137,600
受取手形及び売掛金	7,516,328	6,576,263
有価証券	171,766	983,424
商品	643,114	909,319
仕掛品	488,997	738,412
その他	2,594,884	1,713,538
貸倒引当金	△22,771	△24,051
流動資産合計	21,867,224	21,034,508
固定資産		
有形固定資産	2,590,022	2,721,671
無形固定資産		
のれん	983,391	1,034,637
その他	427,470	442,816
無形固定資産合計	1,410,862	1,477,454
投資その他の資産		
投資有価証券	1,067,676	1,739,638
敷金及び保証金	1,624,702	1,615,185
その他	1,763,247	1,857,342
投資その他の資産合計	4,455,626	5,212,166
固定資産合計	8,456,510	9,411,291
資産合計	30,323,735	30,445,800
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	709,487	913,969
短期借入金	170,000	570,000
1年内返済予定の長期借入金	444,000	444,000
未払法人税等	815,640	72,528
賞与引当金	1,032,416	285,547
受注損失引当金	20,000	31,000
その他	2,917,392	3,811,772
流動負債合計	6,108,935	6,128,819
固定負債		
長期借入金	2,856,000	3,145,000
退職給付引当金	657,361	682,167
役員退職慰労引当金	249,452	213,764
資産除去債務	327,474	335,557
その他	63,547	205,286
固定負債合計	4,153,835	4,581,776
負債合計	10,262,770	10,710,595

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,875,251	1,875,251
資本剰余金	1,826,300	1,826,300
利益剰余金	13,485,740	13,231,156
自己株式	△317,258	△702,518
株主資本合計	16,870,034	16,230,190
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△108,881	△167,475
為替換算調整勘定	724,710	1,227,560
その他の包括利益累計額合計	615,828	1,060,085
少数株主持分	2,575,101	2,444,928
純資産合計	20,060,964	19,735,204
負債純資産合計	30,323,735	30,445,800

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
売上高	8,554,354	9,027,096
売上原価	5,977,335	6,642,598
売上総利益	2,577,018	2,384,498
販売費及び一般管理費	1,683,707	1,921,400
営業利益	893,311	463,097
営業外収益		
受取利息	4,858	9,044
その他	23,665	40,770
営業外収益合計	28,523	49,815
営業外費用		
支払利息	5,498	8,488
為替差損	42,262	33,018
持分法による投資損失	17,228	30,134
その他	1,711	5,351
営業外費用合計	66,700	76,992
経常利益	855,135	435,921
特別利益		
投資有価証券売却益	24,464	—
持分変動利益	—	16,191
特別利益合計	24,464	16,191
特別損失		
投資有価証券評価損	166,440	—
特別損失合計	166,440	—
税金等調整前四半期純利益	713,158	452,112
法人税、住民税及び事業税	48,358	24,924
法人税等調整額	342,613	317,638
法人税等合計	390,972	342,563
少数株主損益調整前四半期純利益	322,185	109,549
少数株主利益	7,457	6,481
四半期純利益	314,727	103,067

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	322,185	109,549
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	107,749	△58,594
為替換算調整勘定	349,521	505,771
持分法適用会社に対する持分相当額	12,466	23,299
その他の包括利益合計	469,737	470,477
四半期包括利益	791,923	580,026
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	758,983	547,324
少数株主に係る四半期包括利益	32,939	32,702

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額(注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内CRO事業	国内SMO事業	国内CSO事業	Global Research 事業	益新事業	その他(注2)	計		
売上高									
外部顧客への売上高	5,010,794	1,489,161	1,386,197	298,710	18,848	350,641	8,554,354	—	8,554,354
セグメント間の内部 売上高又は振替 高	24,452	1,600	16,302	15,857	24,494	137,816	220,523	(220,523)	—
計	5,035,246	1,490,761	1,402,499	314,568	43,343	488,458	8,774,878	(220,523)	8,554,354
セグメント利益	971,186	20,064	63,461	(35,631)	(117,494)	(9,538)	892,047	1,264	893,311

(注) 1 セグメント利益の調整額 1,264 千円は、セグメント間取引消去等の調整額です。

2 「その他」の区分には、「BPO事業」、「その他事業」を含んでいます。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額(注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内CRO事業	国内SMO事業	国内CSO事業	Global Research 事業	益新事業	その他(注2)	計		
売上高									
外部顧客への売上高	4,738,095	1,414,875	1,439,996	368,294	761,895	303,938	9,027,096	—	9,027,096
セグメント間の内部 売上高又は振替 高	167,960	86,245	19,837	16,444	20,887	195,263	506,637	(506,637)	—
計	4,906,056	1,501,120	1,459,834	384,738	782,782	499,202	9,533,734	(506,637)	9,027,096
セグメント利益	484,136	148,329	59,155	(122,980)	(118,637)	6,159	456,162	6,935	463,097

(注) 1 セグメント利益の調整額 6,935 千円は、セグメント間取引消去等の調整額です。

2 「その他」の区分には、「BPO事業」、「その他事業」を含んでいます。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

近年の医薬・医療機器業界等経営環境の急速な変化に対応し、当社グループは、経営体制を見直し、更なる発展への基礎作りに取り組んできました。中でも、事業の再編と各社・各事業の運営体制の強化を進めてきており、事業セグメント毎の責任と権限を明確化し、各セグメントにおける自主経営を推進するとともに、グループ横断的な機能の明確化を実現していく方針です。

このような状況において、顧客の動向やニーズを敏感に捉え、効率的な業務遂行と価格競争力を高めるのと同時に、グループ全般の経営資源を効率的に運営していくための組織横断的なマネジメント機能を強化することを目的として、これまで「国内CRO関連事業」及び「中国関連事業」に含まれていたBPO業務を独立させて1つの事業として区分することで経営資源の効率化を図ると共に、「国内CRO関連事業」に含まれていたシェアードサービス業務及び非臨床業務を「その他事業」として1つの事業セグメントとして区分することとしました。

これにより、事業セグメントを「国内CRO事業」、「国内SMO事業」、「国内CSO事業」、「Global Research 事業」、「益新事業」、「BPO事業」、「その他事業」とし、「BPO事業」及び「その他事業」を「その他」として表示しています。なお、「中国関連事業」は「益新事業」と名称を変更しています。

また、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、上記変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産実績

区分	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日) (千円)	前年同期比(%)
国内CRO事業		
モニタリング業務	2,792,381	99.8
データマネジメント業務	1,711,708	66.2
CROその他業務	470,824	170.2
国内CRO事業計	4,974,914	87.9
国内SMO事業	1,414,039	95.0
国内CSO事業	1,439,996	103.8
Global Research 事業	371,434	156.1
益新事業	760,836	4,261.5
その他	296,573	84.5
合計	9,257,796	101.2

- (注) 1. 金額は販売価格で記載しています。
2. 上記金額には消費税等は含まれていません。

(2) 受注実績

区分	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
国内CRO事業				
モニタリング業務	2,337,505	49.9	15,057,776	89.4
データマネジメント業務	1,600,592	83.8	12,706,114	97.7
CROその他業務	1,149,602	262.6	2,622,814	227.5
国内CRO事業計	5,087,700	72.4	30,386,704	98.0
国内SMO事業	1,904,385	199.8	7,709,641	108.8
国内CSO事業	1,184,299	107.3	3,845,109	109.3
Global Research 事業	960,444	432.0	4,351,537	187.5
益新事業	852,200	4,164.2	150,966	143.1
その他	302,171	88.5	124,627	68.2
合計	10,291,201	106.4	46,568,587	105.3

- (注) 1. 金額は販売価格で記載しています。
2. 上記金額には消費税等は含まれていません。

(3) 販売実績

区分	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日) (千円)	前年同期比(%)
国内CRO事業		
モニタリング業務	2,792,381	99.8
データマネジメント業務	1,506,740	78.4
CROその他業務	438,972	151.5
国内CRO事業計	4,738,095	94.6
国内SMO事業	1,414,875	95.0
国内CSO事業	1,439,996	103.9
Global Research 事業	368,294	123.3
益新事業	761,895	4,042.1
その他	303,938	86.7
合計	9,027,096	105.5

(注) 1. 上記金額には消費税等は含まれていません。